
霧の中の鳥

シーモン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

霧の中の鳥

【Nコード】

N9112Y

【作者名】

シーモン

【あらすじ】

…平和な田舎町で起きた連続殺人事件。
その町に配属された二人の刑事…一人の刑事は、真相を追い続ける少年少女にであう…

（この小説は、アトラスから発売されているペルソナ4の二次元創作小説です。キャラ崩壊、設定無視は極力しませんが、やったらすいません…

初めての連載なのでアドバイスをお願いします。）

第一話「金系雀」（前書き）

はい、どうも！シーモンです！始めました…始まってしまいました…
た…

処女作なので、変な書きかたをしていたらすいません…

更新は不定期ですが、これから宜しくお願いします！

第一話「金糸雀」

…念願の刑事になれた
だけどなあイキナリこんな田舎町に飛ばされるとはなあ…

まあいいか…人生狂ってナンボの人生だな。
byかなさん。

男は最近、愚痴を「ついたあ」で書きこむことが少し癖になっていた。

（まあ、愚痴をネットにながしても仕方ないんだけどねえ…）

（目的地の稲葉市にまで

あと二時間はあるな…

寝るか…）

男は腕を組み、首を少し下げてすぐにスウスウと寝息を立てて寝てしまった…

「…稲葉。…終点八十稲葉。お降りのさいは…」

（うん？もう着いたのか？）

ゆっくりと男は、立ち上がり荷物を網棚から下ろしふらつく様にホームに降りていった。

（さてと、稲葉警察署はと…）

少し体を伸ばしながらこんな事を考えていると少しポツチャリとしたスーツ姿の男が手を振りながら

「おい、君かい？この春から稲葉警察署に配属になる刑事って？」と聞いてきた。

（稲葉警察署の方かな？）と思い

「ええ、来週から稲葉警察署に配属される、松枝ですが、あなたは？」

「そうか、君が松枝君か！私は来週から君の上司になる鳥山だ。これから宜しく頼むよ！」

「どうも、宜しくお願いします…」

突然、上司が来たので少し戸惑いながら答えた。しかし何故、上司の鳥山さんが迎えに来たのだろうか？疑問に思い

「あの…出迎えとかそーゆーのが来るのは聞いてないんですけど…」

「ああ、ちよつとねこの辺に用事があってね。その帰りに駅前の自販機でタバコを買おうとしたら、君の書類に載っていた顔だったからね。で、わからないことがあったから聞こうと思ってね。」

「わからないこと？」

「君の下の名前だよ。実はもう一人の新人がコーヒーこぼしちゃってね…君の名前の所が松枝としか読めなかったんだよ。」

もう一人の新人…確か俺より若い冴えない男だったな…なにやってんだよ…

「…下の名前は、金の系の雀と書いて金系雀カナリアと言います。」

「松枝金系雀か、珍しい名前だね…まあ聞きたかったのはそれだけだよ。あ、他の部分は汚れてないから安心してね」

それだけ聞くと、小走りで車に乗り颯爽と帰っていった。

あれが、俺の上司か…愛嬌がある人だな…

まあ、今日はサッサとアパートに行って荷物を整理するか…

金系雀はブラブラと歩きながらこれから住むアパートへと向かった。

この日、三月三十日。

物語が始まる前の、話だ。

これから始まる物語

霧に包まれた街に起きる連続殺人事件に真相を追い続けある少年少女に出会う二十六歳の若い刑事の話…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9112y/>

霧の中の鳥

2011年11月27日10時54分発行